

課題	- 域内に存在するAIオンデマンド交通の行政負担が大きい - 公共ライドシェアの一般ドライバーの運行管理の手間が大きく負担が大きい - 生活基盤に必要な移動として、買い物代行、病院送迎、スクールバスなど異業種においても交通の担い手不足が生じている
プロジェクト概要	[交通サービスの高度化(マルチモーダルかつシームレスな移動体験の提供)] - 既存のマルチモーダル検索に新規の距離制運賃型公共ライドシェアを追加し域内の交通モードを拡充。エリア全体の公共交通利便性向上への寄与し、一つのアプリで予約から決済までシームレスな移動体験を実現 - 距離別運賃導入による収益改善による行政負担低減 - 地域連携に合わせたチケットプラン導入による利用者の利便性向上 - 地域連携による持続性向上 [モビリティ・データの取得と活用] 1次公募で実装予定のデータ基盤に距離別運賃型公共ライドシェアシステムのデータを連携し、既存交通データと掛け合わせた、地域交通データ分析 - MaaSアプリと連携した安全運行管理システム導入による運行管理のDX化、運行管理の負担軽減ならびにモビリティの安全性の維持・向上 [地域交通政策等との連携] - 京丹後市で導入が予定されている久美浜エリアの新しい公共ライドシェアサービスと連携 - mobiアプリ活用によるエリア内の公共交通とのシームレスな移動体験を利用者に提供し、運行管理システムによるライドシェアドライバーの運行品質管理や事務処理の簡素化を同時に実現し、サービス自体の持続性向上
効果	- 距離別運賃に対応したシステム導入により収益率 10%収支改善 - 地域連携型の予約システム導入による利便性向上に対する評価 4点以上 - 運行管理DX化によるリソース削減 20%
事業の新規性	- 既存のMaaSアプリ機能に、距離別運賃、チケットラインナップなど収益改善につながる機能拡充。地域異業種との連携モデルをMaaSアプリに実装。 - 京丹後地域では、これまで、AIオンデマンド交通や公共ライドシェアが運行されているが、NPO法人がアナログで対応している。安全は交通の根幹であるため安全管理の品質を維持していくためにも、DX化を推進し、運行管理の品質を維持・向上させ、運行管理リソースを削減する

事業エリア/交通事業(予定)	京丹後市域(将来的な沿線地域への展開を想定) 鉄道:京都丹後鉄道、バス:丹後海陸交通、タクシー:久美浜タクシー・峰山交通・網野タクシー AIオンデマンド交通:mobi、公共ライドシェア・市営バス:京丹後市、ささえあい交通:NPO、労働者協同組合「TANGO CREW'S」
MaaSアプリ等	- MaaSプラットフォーム:mobi アプリ - 公共ライドシェアデマンド交通配車システム:mobi アプリ *DRT/*FLEET - 地域連携配車・運行管理システム:mobi アプリ *CONECCT
データの活用等	- データの取得方法: MaaSアプリのデータベースからデータ基盤、安全運行DXへ連携 - データの活用方法:予約データをBIツール上でグラフ及びGISで可視化し、交通再編の検討に活用。

座組	スケジュール	
実施団体 全体統括 WILLER(株) 地域内連携交渉・利用促進 WILLER TRAINS システム開発 WILLERS 地域交通計画連携 地域事業者調整 京丹後市 実証運行 地域内交通事業者	11月	企画・準備・要求整理 地元調整
	12月	システム開発
	2月下旬	順次システムリリース 実証現場へ導入
	3月	効果測定